



BARRYVOX® S

BENUTZERHANDBUCH	DE
USER MANUAL	EN
MODE D'EMPLOI	FR
MANUALE	IT
MANUAL DEL USUARIO	ES
BRUKERHÅNDBOK	NO
ANVÄNDARHANDBOK	SV
NÁVOD K OBSLUZE	CS
NAVODILA ZA UPORABO	SL
INSTRUKCJA OBSŁUGI	PL
РУКОВОДСТВО ПО ЭКСПЛУАТАЦИИ	RU
取扱説明書	JA
DECLARATIONS OF CONFORMITY	

Japan (日本)
Mammut Sports Group Japan Inc.
Yotsuya Akebonobashi BLDG 2F
2-14 Sumiyoshi-cho Shinjuku-ku
JP - 162-0065 Tokyo
Tel. +81-(0)3-5366-0587
info@mammut.jp

Head Office (本社):
Mammut Sports Group AG
Birren 5
CH-5703 Seon, Switzerland
Tel. +41 (0)62 769 81 81
info@mammut.ch

mammut.com

新しいBarryvox®Sをご購入頂き、誠に有難うございます。

このユーザーマニュアルは新しいBarryvox®Sの使用方法および機能について説明します。新しいBarryvox® Sはユーザーにとってとても使用しやすい画期的で、センサーコントロールされた雪崩トランシーバーです。さらなる詳細な説明や上級者向けの使用説明についてはBarryvox®Sの追加リファレンスガイドをご参照下さい。

Barryvox®S ユーザー登録と3年延長保障について
機器のソフトウェア更新など重要な情報を入手するため、公式webサイトからユーザー登録(www.mammut.jp)をお願いします。登録されると、メーカー保障が3年間が延長され、保障期間が購入日後計5年間となります。

Barryvox® スイス製雪崩トランシーバー
伝統が持つ魅力。マムートのBarryvox®は、世界を代表するスイス伝統の精密機器製造技術により、製造されたものです。機器設計から工作、製造にいたるまで、すべて完全にスイス国内でおこなわれた完全な100%スイス製の機器です。この機器はEN300718標準に準拠した雪崩トランシーバーに対応しており、周波数457 kHzで動作します。

Barryvox® 雪崩トランシーバーに関して、下記の項目の詳細はwww.mammut.com/BarryvoxManualをご参照下さい。

Barryvox®S ユーザーマニュアル

このユーザーマニュアルは標準的な検索モード (SEARCH)を含め、グループチェックや送信 (SEND)の方法について説明しています。さらに、基本的な保管維持方法、保証、修理、技術仕様に関するすべての情報について説明しています。

Barryvox®S 追加リファレンスガイド

より広範囲の詳しい内容を含む追加リファレンスガイドはあなたの所有されているBarryvox®に関する、様々なことに関する詳しい内容について説明しています。ユーザーズマニュアルに説明されている検索方法について、さらに進んだ内容が追加され説明されています。これらの内容は、すべての雪崩教育者にとって重要な事柄です。

同意 / 確認

同意事項、確認事項については、この説明書の最後に説明があります。

BARRYVOX®S

取扱説明書

BARRYVOX®の取扱い	226
初期設定	227
コックピット:機能の概略	232
グループチェック	234
SEND モード	236
SEARCH モード	237
埋没者の掘り出し	240
その他情報	241
適合宣言書	244

BARRYVOX®の取扱い

すべての雪崩トランシーバーと同様、Barryvox®には、フェライト素材による衝撃に弱いアンテナが仕様されています。したがって、最大限に丁寧にお取り扱い下さい。

機器の保管、および装着携帯システムは、温度が低すぎたり高すぎたりする場所や直射日光が当たる場所を避け、乾燥している場所で携帯、もしくは保管して下さい。

機器本体と電池の残量は常にチェックして、警告メッセージに注意を払い、出発前に定められたやり方のグループチェックを必ず実施して下さい。(P234-235参照)

お客様が所有するBarryvox®のケースやバッテリー装填部のカバーが破損していないか、電源スイッチが適切に作動するか、バッテリーの接点が清潔で適切な状態に保ているか、自己責任で日頃から確認を行なって下さい。

雪崩トランシーバーが適切に作動するかどうかの確認には、機器を正規Barryvox®サービスセンターに送り、3年ごとに、機器の機能の点検をおこなうことを強く推奨します。推奨される次の点検日は、電源を切る際に、「メンテナンス」を選んで確認して下さい。(Barryvox®S追加リファレンスマニュアルの「定期点検」を参照).

電磁波干渉

起動させている雪崩トランシーバーは、電子機器 (携帯電話、無線機、ヘッドランプ、カメラなど)、金属製のもの(携帯ナイフ、磁石でできたボタンなど)、またはその他の雪崩トランシーバーから離して携帯して下さい (送信SEND時では20 cm; 探索SEARCH時では50cm最低離して下さい)。

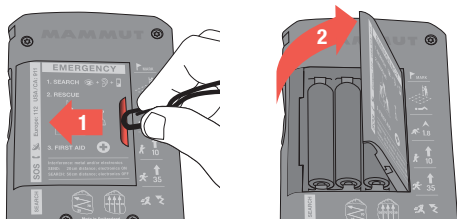
磁石のボタンが付いている衣服を着用しないようにして下さい! ペースメーカーを使用されている方は、雪崩トランシーバーはズボンのポケットに入れて携帯されることを勧めます。ペースメーカーに対する影響は、ペースメーカーの製造元の指示に従って下さい。

探索時は、雪崩トランシーバーは上記の電子機器や金属製のものから最低でも50 cmは離し、電子機器は電源を切ってください。可能であれば、携帯電話の電源を切っておくことを強く推奨します!

初期設定

乾電池の装着と交換

本装置には、必ず同じ種類の1.5Vアルカリ乾電池(LR03/AAA)、もしくはリチウム乾電池(LR92/AAA)を使用して下さい。必ず、同じ型式で新品の乾電池を3本同時に使用して下さい。もし、乾電池を取り外した場合は、取り外した電池3本をそのまま戻すか、または3本とも新しい乾電池を入れ替えて下さい。充電電池は絶対使用しないで下さい。乾電池を交換する場合には、3本すべて同時に入れ替えて下さい。



カバーが適切に閉まっているかを確認し、本体および乾電池は、いつも乾燥した状態を保って下さい。

指の爪、または紐の先についているフックを使い、左図の矢印1の方向へと乾電池のフタを横に少し押しながらスライドさせると、右図の2のように扉開きします。定期的に、乾電池の挿入場所を確認し、清掃し、乾燥した状態を保って下さい。接点を手で直接触れることは絶対に避け、清潔な設定清掃用の布を用いて下さい。正常な電源の作動状態は、安全な機器の動作には不可欠です。

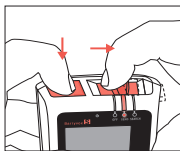
例えば、夏季中の保管、旅、輸送など雪崩トランシーバーを長期に使用しない場合、アルカリ乾電池、またはリチウム乾電池をすべて取り外し、バッテリーを挿入する空間を空の状態にして下さい。乾電池からの液漏れなどが生じた場合は、保証が無効になることをご了承ください。

電源 OFF / SEND / SEARCH

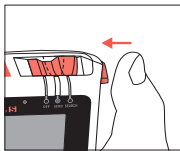
電源用のメインスイッチは装置の上側の右のオレンジ部分にあります。メインスイッチが左の位置ある時、電源はOFFとなり、真ん中の位置にある時、電源はOFFとなり送信するSENDモードとなり、右の位置にある時、搜索のSEARCHモードになります。安全のため、SENDモードの位置から動かす場合は、メインスイッチの左側にある解除ボタンを押してメインスイッチを動かす必要があります。SEARCHモードからSENDモードに戻す場合は、メインスイッチの横側にあるボタンを押せば送信に戻ります。使用するモードを間違えないように、メインスイッチが機械的にロックされていることを常に確認して下さい。



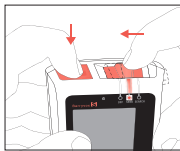
OFF → SEND



SEND → SEARCH



SEARCH → SEND



SEND → OFF

ユーザインターフェースとボタン


Barryvox®Sの使用方法は3つのボタンを扱い簡単です。2つの上下スクロールボタンは右側面に、正面にはオレンジ色の▶ボタンがあります。表示のメニューやリストの上下を動かすには右側面のスクロールボタンを押して下さい。そして、▶ボタンを押すことにより、メニュー選択を決定します。▶ボタンを押すことによって起こる次の動作は、スクリーンのメニュー欄、もしくはスクリーン下のバーに 표시됩니다。

例:

オレンジ色の ▶ ボタンを押すと…
… グループチェック(GroupCheck)となる



言語

初期設定する際、機器の電源を入れ、SENDの状況にし、ご使用される言語を選んでください。言語を選ぶには右側のスクロールを上下に動かし、言語を選び、 ボタンを押し、決定して下さい。



オーナー

Barryvox®Sは、所有者の名前、住所、電話番号、Eメールなどを含む情報などをタイプし、機器に登録できます。雪崩トランシーバーに電源が入る度にこれらの個人情報は表示されます。(Barryvox®S追加リファレンスガイドの«設定»項目をご参照下さい)



設定

リクリエーション上級者やプロフェッショナルのユーザーは、Barryvox®SのSEARCH設定より、必要性、能力に応じて、自分の最適な設定へ調整・設定ができます。例えば、«プロSEARCH»の様々な機能を用いるように切り替えることができます。(設定方法はBarryvox®S追加リファレンスガイドの«設定»項目をご参照下さい)



起動 / 本体およびバッテリーの確認

起動時に、機器が本体の動作確認をおこないます(セルフチェック)。確認結果は、SENDモードに最初に切り替えた際に、表示されます。

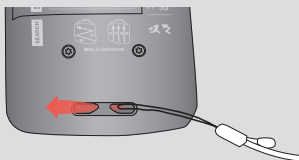
電池残量が30%(アルカリ)以下、または、バッテリーのアイコン表示が出た場合は、できるだけ早く乾電池を入れ替えて下さい!

装着位置

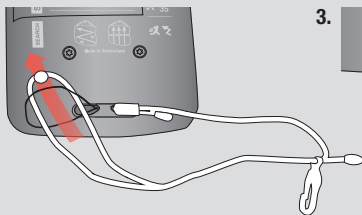
Barryマウントを身体にぴったりくっつけ装着して下さい。装着位置に関わらず、機器のLCD液晶は身体の方に向けて装着して下さい!

Barryリーシ

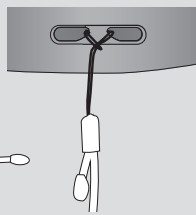
1.



2.



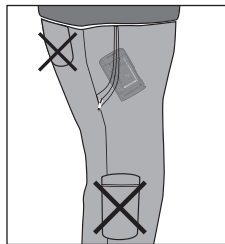
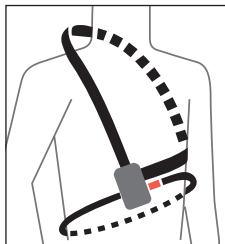
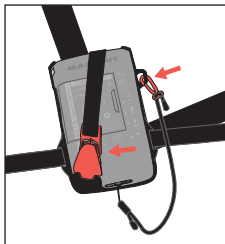
3.



Barryリーシュを機器の下側に取り付けて下さい。

Barryマウント (推奨装着位置)

Barryマウントは、行動を開始する前、最も内側の衣服レイヤーの上に装着して下さい (図を参照)。また、行動中は常に身に付け装着して下さい。雪崩トランシーバーの上に、少なくとも1枚の衣服を着用して下さい。機器はBarryマウントへ、図のように入れて下さい。常にホルスターにBarryリーシュでつなぎ留めておいて下さい。

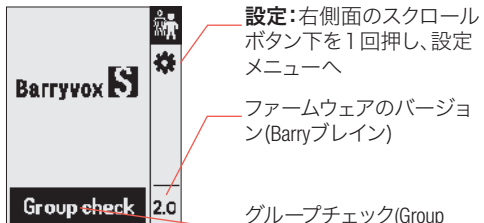


雪崩トランシーバーを衣服のポケットに入れ携帯する場合

Barryvox®をズボンのポケットに入れて携帯する場合、行動中はポケットのジッパーを閉め携帯して下さい。常に安全なポケット (外付けされていないポケット) を使用して下さい (図を参照)。手首用のループを、パンツ、または、ベルトの周りに固定して下さい。注)リーシュは絶対ポケットの外のジッパーには装着せず、ポケット内のフックに装着することをお勧めします。

コックピット:機能の概略

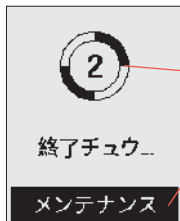
電源ONとOFF



設定:右側面のスクロールボタン下を1回押し、設定メニューへ

ファームウェアのバージョン(Barryプレイン)

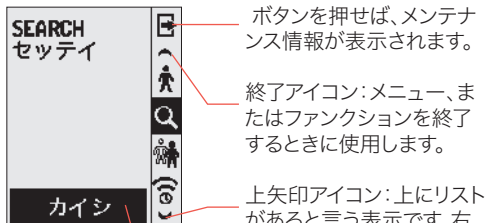
グループチェック(Group check):グループチェックに切り替えするには [▶] ボタンを押して下さい。



電源OFFに切り替えて2秒すると電源が落ちます。

電源OFF後3秒以内に [▶] ボタンを押せば、メンテナンス情報が表示されます。

リストの設定とナビゲーション



ボタンを押せば、メンテナンス情報が表示されます。

終了アイコン:メニュー、またはファンクションを終了するときに使用します。

上矢印アイコン:上にリストがあるという表示です。右側面にある上のボタンを押し、リストを選んで下さい。下矢印アイコン:下にリストがあるという表示です。右側面にある下のボタンを押し、リストを選んで下さい。

リストや選択を決定する時、[▶] ボタンを押し設定して下さい。


グループチェック (Group check)



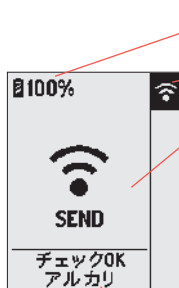
その他の参加者

リーダー

状態に関する情報、もしくはリーダーへの指示

グループチェックモードからSENDモードに切り替えるには  ボタンを押して下さい。


SEND について





電池残量(パーセント)

SEND モードアイコン

SEND モード状態

 SEND モードが適切に機能

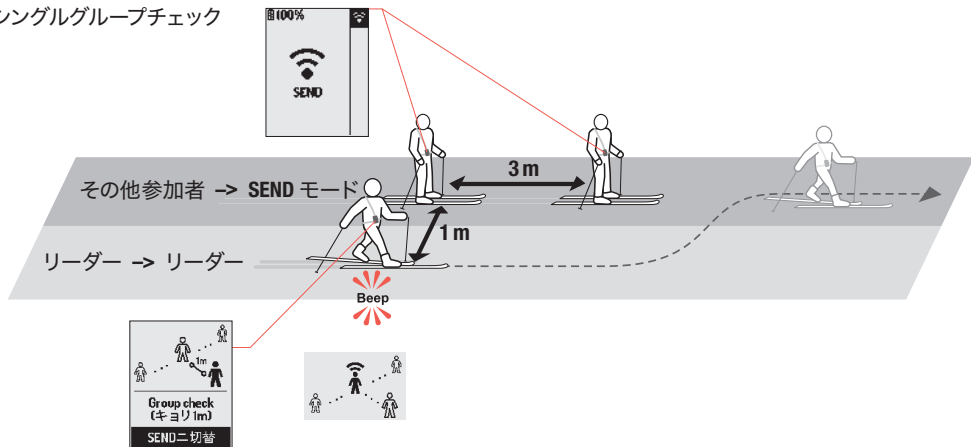
 注意:SENDの機能が障害され、送信している電磁波のパワーが低下。

 Rescue-SENDモードアイコン


本体機器確認のセルフチェック情報、警告メッセージ、現在使用中の電池タイプの表示 (SENDモード切替後10秒で表示は消える)

グループチェック

シングルグループチェック



パーティーが出発する前、全員の雪崩トランシーバーの正常稼働をお互いにチェックする必要があります。メンバー全員がSENDモードにし、グループのリーダーは


OFFからSENDにしてすぐに最初の数秒以内に  ボタンを押してグループチェックモードを起動し、上の図面のようにグループチェックを行って下さい。



スクリーンに表示されている距離で各メンバーの雪崩トランシーバーから発信される電波のピーブ音がはっきりと聞こえたならば、雪崩トランシーバーの送信電波のテストが完了したことになります。



各参加者は電磁波干渉や障害がある場所を避け、適度に間隔を設け隊列を組んでください。表示されているメートル範囲より極端に近い距離でチェックしないで下さい。もし表示より近い距離でグループチェックをすると、グループチェックの結果の信頼度は低くなります。

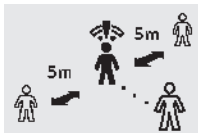
メンバー全員の機器がチェックが終わったら、参加者のグループチェックは完了です。その後、リーダーの雪崩トランシーバーを  ボタン押すことにより、グループチェックモードからSENDモードに切替、目視にて正常起動しているか確認して下さい。

もし表示されている距離より近い位置で音が確認できない場合、その雪崩トランシーバー機器は使用しないでください。

次の手順で確認：

1. SEND側のスイッチがSENDモードになっているかチェック
2. 乾電池を入れ替える
3. 製造元にて装置を点検して下さい

(Barryvox®S 追加リファレンスガイドにあります《メンテナンスと修理について》項目をご参照下さい)。



所有されている Barryvox®S がグループチェックにてメンバーの機器の発信周波数に異常を検知した場合、警告メッセージが表示されます。この場合、チェックする機器以外を所有するメンバーとの距離を5mにし、再びグループチェックをし、異常のある機器を特定して下さい。異常があるとされた機器は製造元に送り点検するようにして下さい。

SEND モード

SEND モードは、野外、その他の雪崩リスクが存在する、状況での活動中に通常用いるモードです。



SENDモードの起動は、音の高さが上昇する3つの連続したピープ音によって確認ができます。発信する電磁波はチェックされ、正常であることが確認されるとSEND-Controlの赤いLEDライトが点滅し、確認することができます。



もし、SEND機能に不具合があるならば、SEND-Controlの赤いLEDライトの点滅は停止し、スクリーンに警告メッセージが表示されます。

電力消費を抑えるため、SENDモードではLCD液晶は自動的に消えますが、どれかのボタンを押せば表示は復帰します。

バイタルデータと埋没者のデータ

バイタルデータと埋没者のデータの履歴については、Barryvox®Sの追加リファレンスガイドをご覧ください（日本ではW-Linkが使用できないため、バイタルデータは取得できません）。

SEND モード、埋没状態にあり動いていない人。



埋没してから最初の20分間に、機器を装着している人のバイタルデータを検出。

機器の装着者は45分間、動いていない。

Rescue-SEND (救助者の送信)モード (Rescue-SEND)

Rescue-SEND モードは、救助者が、二次雪崩に遭遇した場合に、救助者を守ります。救助活動中に救助者で、雪崩トランシーバーを用いた検索をしていない人たち（シャベルで掘り出している人、プローブラインに加わっている人、雪面の探索者、他の探索機器を用いた探索者など）は、機器の電源をOFFにする代わりに、Rescue-SENDモードを立ち上げます（Barryvox®S の追加リファレンスガイドの「Rescue-SENDモード」項目をご参照下さい）。

SEARCH モード

他の探索者の携帯電話などの電子機器の電磁波干渉は探索の妨害になることを注意して下さい。したがって、どうしても必要とされるものを除いて携帯電話の電源を切ることを強く推奨します。

① シグナルサーチ



- ▶ **Barryアドバイス:** 素早く動く。
- ▶ 緊急時プラン、探索の方略、探索幅については機器の裏側に描かれている説明を見て下さい。
- ▶ 雪崩の表面を効率的かつ組織的に探索。
- ▶ シグナルサーチでは、同時に、雪面にある目に見える手掛かりを発見するために、デブリの雪面を注意して目視で探索して下さい。最初の信号を受信すると2回ピープ音が鳴ります。



② コースサーチ



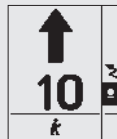
- ▶ **Barryアドバイス:** 素早く動き、矢印の方向に動く。
- ▶ 雪崩トランシーバーを持つ手を水平方向に伸ばす。
- ▶ 数字が増えるならば、要救助者から離れて行っていることを意味する。180度反対方向に向かい探索を続行。



距離表示が10以下の場合



- ▶ **Barryアドバイス:** 探索スピードを急激に減速し、矢印の方向を正確に追従する。



1

シグナルサーチ



2

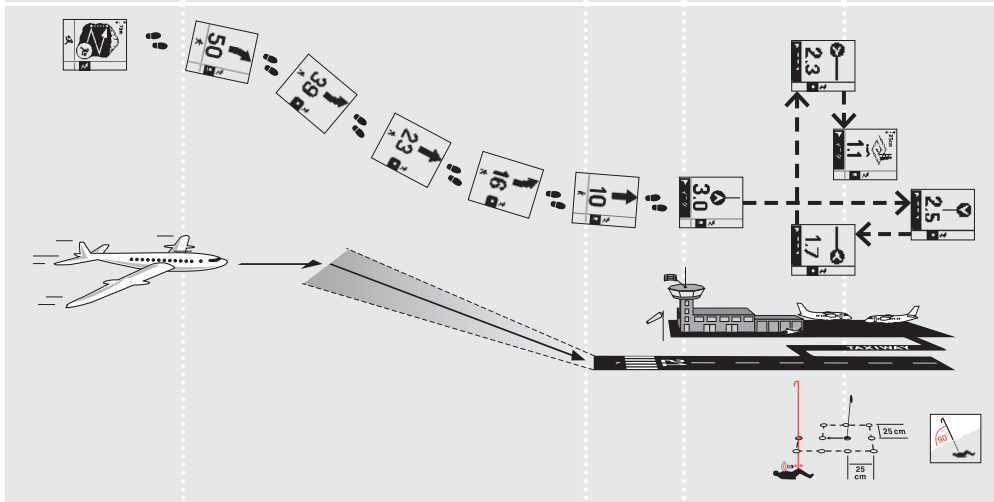
コースサーチ

表示
10以下

3

ファイン
サーチ

4

ピンポイント
ティング

3 ファインサーチ




- ▶ **Barryアドバイス:** 矢印に従うこと！矢印の方向を前後に搜索し、数字が最小になる地点を見つけるまで続ける。雪崩トランシーバーは膝の高さに一定に保ち、持つ。



4 ピンポイントング

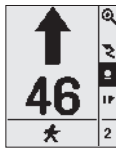


- ▶ **Barryアドバイス:** 最小値が表示された地点に、ストックなどの目印を置く。目印は、定期的にプローブを刺す場合に重要な中心点となる。
- ▶ プローブが折衷の要救助者にヒットした場合、プローブは雪の中に刺したままにする。

プローブのヒットによって要救助者の埋没場所の特定に成功したら  ボタンを押し、要救助者をマーキングする。



複数埋没の場合




埋没地点を特定した要救助者をマーキングすることにより、次の要救助者の搜索を継続が可能となります。すでに発見した要救助者は、埋没深が特に深い場合を除いて、搜索を継続する間に、掘り出す (Barryvox®S追加リファレンスガイドの《複数埋没》項目をご参照下さい)。

SENDへの自動切替

救助者の安全の為に、機器を操作せずにかつ所有者が動かなくなった場合は、4分後に装置は自動的にSENDモードに切替わります。SENDへの自動切替に変更するにはBarryvox®S追加リファレンスガイドの《設定》項目をご参照下さい。



SEARCHモードから切替え

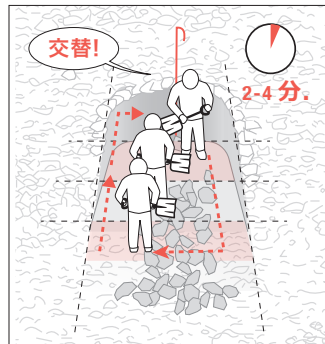
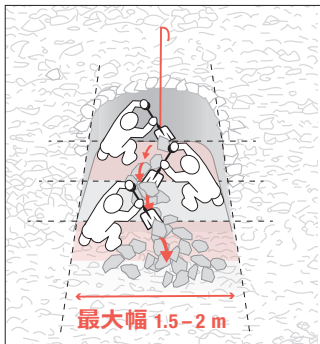
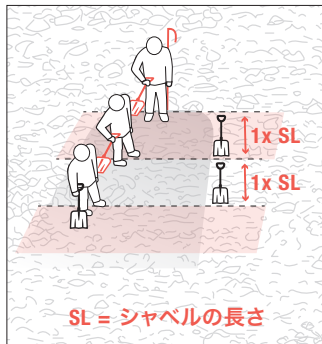
機器をSENDモードに切替えると、4秒後にSENDモードに自動に切替わります。この4秒間の間に  ボタンを1度押せばRescue-SENDモードに切り替わります。

埋没者の掘り出し

プローブの位置に先頭の救助者が立ちます。他の救助者はそれぞれシャベルの長さ1本分の間隔をとり、雪を取り除く方向(通常は斜面下方フォールラインの方向)に並びます。

ベルトコンベアの前頭に位置する救助者は、要救助者を常にヒットしているプローブに沿って掘り下げ、要救助者を見逃すことのないように。

Barryアドバイス: 硬い雪の場合は、シャベルによってブロック状に切り崩すこと。複数埋没の場合は、掘り出した要救助者の雪崩トランシーバーの電源は、できる限り早くOFFにして下さい。



その他情報

W-Link の利用できる地域

- ▶ ヨーロッパ周辺の国 (W-Link Region A) [= 薄灰色]
- ▶ アメリカ合衆国、カナダ、ニュージーランド、オーストラリア (W-Link Region B) [= 濃灰色]
- ▶ W-Link の利用できない地域 [= 黒]
- ▶ 不明な国 [= 白]

周波数の規定はユーザーが周波数設定の変更を禁じています。Barryvox® を居住する場所以外の地域に持ち出して使用する場合は、W-Linkを切り、居住する場所に戻った後、W-Linkを起動して下さい。

W-Link を設定しても埋没者の位置特定に用いる信号には影響を与えないことに留意して下さい。



もしW-LinkがOFFにされていたならば、ロケーション情報は影響されないが、バイタルデータの送信や受信はできません。(Barryvox®Sの追加リファレンスガイドの「トリアージの決定やバイタルデータ」項目を参照)。

保証

領収書に記載されている購入日から2年間のメーカー保証がBarryvox®雪崩トランシーバーにはついていません(バッテリー、携帯システム、リーシュは保証対象外)。

www.mammut.jpにてユーザー登録をされた場合は、保証期間が購入日からさらに3年延長され、合計5年間の保証となります。

保証期間中の保証の申し出は、素材や製造工程に問題があったとされた部品は無料で交換させていただきます。ただし、不適切な取扱や通常の消耗や摩耗による損傷は保証の対象外となります。

購入者や、認定されていない第三者が機器を開けた場合は、保証は適用されません。同様に、製造元の会社が製造する専用部品、または、製造元の推奨部品、以外の、アクセサリや予備部品が用いられた機器も、保証の対象とはなりません。

修理の必要のない雪崩トランシーバーの点検は有料とさせていただきます。保証による修理は、保証期間を延長して保証期間外におこなうことはありません。交換したの部品に関しては6カ月間、保証を致します。保証による修理を受けるためには、領収書を添えて機器を送付して頂いたときのみ、実施されることとなります。

送料は所有者の負担となります。上記以外の保証は一切存在しません。直接、間接的、結果的損害であるかに関わらず、いかなる損失、損害について、一切責任を負いません。

テクニカルデータ

機器: 3本アンテナデジタル-アナログ機器.

発信周波数: 457 kHz (国際標準規格).

電源: LR03 1.5 V アルカリ電池(AAA) 3本、もしくは LR92 1.5 V リチウム電池(AAA) 3本

電池寿命:

SENDモードで通常 300 時間、最小 200 時間
SEARCHモードで 1 時間

最大受信距離: 標準検索モードで70 mまで

搜索経路幅: 標準検索モードで70 m、代替SEARCHモードで100mまで

動作温度: -25° ~ +45° C

寸法: 115 x 67 x 27 mm

重量: 210 g (乾電池含む)

全ての掲載データは保証された値ではありません。テクニカルデータや詳細事項は予告なしに変更される可能性があります。2017年7月現在。

廃棄に関する情報

機器が使用できなくなって廃棄する場合は、通常のゴミとして捨てず、電子機器のリサイクルのための施設においてリサイクルする必要があります。



© Copyright by Mammut Sports Group AG

全著作権所有。テキスト、テキスト抜粋、画像及び図様は全て著作権の対象となります。出版社及びMammut Sports Group AGの書面による許可なく複製、複写することはできません。教育目的のためのさらなる使用及び出版物については、Mammut Sports Group AGにお問い合わせください。Mammut 及び Barryvox®は、Mammut Sports Group AGの登録商品です。全著作権所有。



BARRYVOX® S